

## 指導力評価に関するチェックリストの項目一覧について検討する際の主な論点

必要かつ十分なチェック項目数及び内容に整理することを基本とする。

1. チェック項目に行為の内容に関する項目と行為の手段・方法に関する項目が混在しているが、どう整理するか。
2. 1. と関連して、チェックリストはあくまでも参考として示すものであるが、それを前提としているにしても、チェックリストの項目にはカリキュラム案等を活用して日本語教育を行う際に当然必要とされる行為と望ましい行為が混在しているが、どう整理するか。
3. 地域日本語教育指導者、地域日本語教育コーディネーター以外の者がチェックを行うのが適当なチェック項目はないか。
4. 内容が重複しているチェック項目はないか。
5. 多義的なチェック項目はないか。
6. 指導力評価の振り返りのチェックは、どのレベルで付けるか（「・」のレベルで付けるのか。「( )」のレベルで付けるのか。評価者の選択にゆだねるのか。）
7. チェック項目の数について、「PLAN（企画）」が一番多く、「DO（実施）」が次に多く、「CHECK（点検）」、「ACTION（改善）」の項目が少ないが、バランスは適当か。（現在の案の項目で「CHECK（点検）」、「ACTION（改善）」は十分に行われるか。）